

## 情報学習指導案

- 1 日時 平成15年10月21日(火) 第5校時
- 2 学年 6年1組 (教室)
- 3 単元名 「携帯電話って便利なの？」 (2/2時)
- 4 単元の目標
  - (1) 身近な生活の場で、携帯電話がどのように使われているか、意欲的に考えようとする。 (関心・意欲)
  - (2) 知的所有権や人権の大切さを意識して使うことができる。 (情報のモラル・責任)
  - (3) 著作権に対する理解を深めることができる。 (知識)

### 授業についてのQ&A

#### Q1 一言で言うと、この単元では、どんな力をつけさせたいですか。

携帯電話の機能を知り、その便利さを知ると共に、その機能の中には、商業的問題やプライバシーの侵害に及ぶようなことも起こりうるということを知らせることです。そして、自分の判断で正しく使おうとする態度を育てたいです。

#### Q2 単元の中で、本時はどのような位置付けですか。

携帯電話の機能を「話す・きく」「書く・読む」「写す」と考えました。第1時では、それぞれの機能のよさについて話し合い、その中でも特に「話す・きく」のマナーを取り上げました。本時は、子供たちの「携帯電話を使って写真を写したい」という思いを取り上げ、この思いが、著作権や個人のプライバシーを侵害する可能性があることを知り、正しく使おうとする意識を高めたいです。

#### Q3 本時の授業の「うり」は何ですか。

テレビコマーシャルと教師の劇を観て、携帯電話でも著作権を侵害する場面があることに気づかせるところです。さらに、過去に学習した著作権を振り返ることと、子供の新聞の切抜きを使って身近な社会的問題だということについて考えるところです。

#### Q4 本時の授業のねらいは何ですか。

携帯電話は周りにいる人の迷惑にならないように使うことが大切だと思っている子供たちが、本屋や美術館で写真をとったりする劇を観て話し合うことで、携帯電話にも著作権や肖像権を侵害する可能性があることを知り、正しい使い方をしようとする姿勢を育てたい。

